

2020年度東北病院薬剤師会総会

2020年 6月11日～19日
理事会にてメール審議済

1. 議題

- ① 2019年度会務・会計報告
- ② 2020年度事業計画・予算について
- ③ 名誉会員に関する規程(新規)について
- ④ 東北ブロック第11回学術大会(山形)と今後について
- ⑤ 次期体制について

2019年度 会務報告

2019年	4月	20日	東北薬剤師力セミナー(後援)	仙台市
	5月	8日	東北病院薬剤師会監査(2018年度分)	盛岡市
		31日	東北周産期薬剤師研修会(共催)	秋田市
		31日	東北病院薬剤師会 常任理事会、理事会 学術連絡委員会 中小病院等連携委員会	秋田市
	6月	1、2日	日本病院薬剤師会東北ブロック第9回学術大会	秋田市
		2日	2019年度東北病院薬剤師会総会	秋田市
		29日	第29回東北臨床腫瘍セミナー(後援)	仙台市
	7月	20日	簡易懸濁法研修会(後援)	仙台市
	8月	9日	日本病院薬剤師会 議事運営委員会委員として南雲徳昭氏(秋田)を選出 選挙管理委員会委員として山本章二氏(青森)を選出 会員管理システム等特別委員会委員として中村浩規氏を選出	
	9月	21日	AMED委託研究 医薬品等規制調和・評価研究事業 眞野研究班 講演会(共催)	仙台市
		21日	東北周産期薬剤師研修会(共催)	仙台市
	10月	20日	第58回日本薬学会東北支部大会(後援)	仙台市
	11月	9日	東北周産期薬剤師研修会(共催)	仙台市
	12月	10日	(一社)薬学教育評価機構 評価実施員として金田一成子氏(青森)、佐藤文彦氏(岩手)を選出	
		14日	東北周産期薬剤師研修会(共催)	秋田市
		14日	第30回東北臨床腫瘍セミナー(後援)	仙台市

2019年度 東北病院薬剤師会 決算報告書(1)

(2019. 4. 1～2020. 3. 31)

収入	2,658,045 円
支出	1,864,896 円
次年度繰越	793,149 円

■ 収入の部

	予 算	決 算	差 額	備 考
学術大会助成金	300,000	300,000	0	日病薬より
常任理事会会議費	40,000	40,000	0	日病薬より
常任理事会等旅費	100,000	0	▲ 100,000	日病薬より
各県負担金	1,500,000	1,500,000	0	250,000×6県 青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島 運営負担金 50,000 東北ブロック学術大会負担金 200,000
利 子	0	11	11	
繰越金	818,034	818,034	0	
その他	0	0	0	
合 計	2,758,034	2,658,045	▲ 99,989	

2019年度 東北病院薬剤師会決算報告書(2)

(2019. 4. 1～2020. 3. 31)

■ 支出の部

	予 算	決 算	差 額	備 考
学術大会助成金	1,200,000	1,200,000	0	東北ブロック第9回学術大会(秋田)
学術大会準備金	300,000	300,000	0	東北ブロック第10回学術大会(仙台)
常任理事会会議費	40,000	40,000	0	5/31会場費(秋田)
常任理事会等旅費	100,000	35,980	64,020	5/31常任理事会、6/2総会 (監事2名、事務局1名)
学術講演会等補助金	200,000	100,000	100,000	第58回日本薬学会東北支部大会
慶弔費	20,000	10,000	10,000	宮城県病院薬剤師会設立70周年 記念式典のご祝儀
通信費	20,000	1,296	18,704	手数料等
事務費	30,000	27,620	2,380	会計監査日当等
事務局費	150,000	150,000	0	岩手医科大学附属病院薬剤部
予備費	698,034	0	698,034	
合 計	2,758,034	1,864,896	893,138	

2020年度東北病院薬剤師会事業計画

<基本方針>

- 東北6県の病院薬剤師の資質向上を目指す
- 薬学教育および薬剤師生涯研修に貢献する
- 会員相互の交流と連携を図る

<事業計画>

1. 学術大会の開催

学術大会の開催を通じて、病院薬剤師を取り巻く環境の変化や社会のニーズを捉えるとともに、先端的な取り組みや臨床研究の成果について情報共有し、意見交換する機会を提供することにより、会員の資質向上を図る。また、会員相互の親睦を図り、東北地方全体の連携強化を促す。

2. 各種認定取得の支援

学術大会等を通じて、各種認定取得のための講習会等への参加の機会を提供することにより、会員の認定取得を支援する。

3. 学術レベルの向上

学術大会等を通じて、東北地方の病院薬剤師の学術レベルの向上に努めるとともに、学術連絡委員会を中心に、東北各県の病院薬剤師会が相互に連携して、会員の先端的な調査・研究への取り組みを促す。

4. 地域連携の強化

中小病院等連携委員会を中心に、東北各県の病院薬剤師会が相互に連携するとともに、地域の拠点病院と中小病院との連携を強化し、地域に根差した医療連携の推進に積極的に取り組む。

5. 関連団体等との連携強化

日本病院薬剤師会、東北各県の薬剤師会、日本薬学会東北支部等の関連団体との連携を強化し、会員の資質向上に努める。

2020年度東北病院薬剤師会予算

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

■収入の部

	2020年度予算	2019年度予算	増減額	備考
学術大会助成金	300,000	300,000	0	日病薬より
常任理事会会議費	40,000	40,000	0	日病薬より
常任理事会等旅費	0	100,000	▲100,000	日病薬より
各県負担金	1,500,000	1,500,000	0	250,000×6県（運営負担金50,000、東北ブロック学術大会負担金200,000）
繰越金	793,149	818,034	▲24,885	
合計	2,633,149	2,758,034	▲124,885	

■支出の部

	2020年度予算	2019年度予算	増減額	備考
学術大会助成金	1,200,000	1,200,000	0	東北ブロック第10回学術大会（仙台）
学術大会準備金	300,000	300,000	0	東北ブロック第11回学術大会（山形）
常任理事会会議費	40,000	40,000	0	会場費（仙台）
常任理事会等旅費	0	100,000	▲100,000	
学術講演会等補助金	150,000	200,000	▲50,000	第59回日本薬学会東北支部大会、他
慶弔費	20,000	20,000	0	
通信費	20,000	20,000	0	手数料等
事務費	30,000	30,000	0	会計監査日当等
事務局費	150,000	150,000	0	岩手医科大学附属病院薬剤部
予備費	723,149	698,034	25,115	
合計	2,633,149	2,758,034	▲124,885	

東北病院薬剤師会 名誉会員に関する規程(新規)

(目的)

第1条 本規程は、東北病院薬剤師会(以下、東北病薬という)会則第13条に規定する名誉会員の委嘱を円滑に行うことを目的とする。

(名誉会員)

第2条 名誉会員の推薦は、被推薦者が次の全てを満たしている場合に行うことができる。

- (1) 推薦する年度の4月1日時点において60歳以上であること
- (2) 現職の東北病薬役員でないこと
- (3) 東北病薬会長経験者であること

第3条 名誉会員の委嘱は、東北病薬又は県病院薬剤師会会長による推薦に基づき、理事会の承認を得た者に行う。

第4条 名誉会員の委嘱に当たっては、委嘱状を送付するものとする。

(会員資格等)

第5条 名誉会員は会費の納入を要することなく、日本病院薬剤師会東北ブロック学術大会に参加する権利を有するものとする。

(改廃)

第6条 本規程の改廃は、理事会の承認を得なければならない。

附 則

本規程は、令和2年 6月30日より施行する。

東北ブロック第11回学術大会(山形)と今後について

- COVID-19の流行に伴い、諸般の事情に鑑み、東北ブロック第11回学術大会(山形)の開催を1年間延期し、令和4年度開催とする。(令和3年度は開催しない)
- 令和3年度の各県への負担金の請求は、例年通り行う。ただし、学術大会負担金は別途プールし、今後の学術大会開催時の予備費に充てる。この予備費を使用する際は、理由書による支出申請と、理事会の承認を得ることとする。
- 令和3年度の常任理事会・理事会は以下の日程で行う予定である。
日時: 令和3年6月5日(土)
時間: 13:00~16:30(詳細は後日)
場所: 岩手県盛岡市 盛岡地域交流センター(マリオス)

新体制(令和2年7月1日～令和4年6月30日)

会長:岩手県病院薬剤師会 工藤 賢三

監事:宮城県病院薬剤師会 眞野 成康

監事:岩手県病院薬剤師会 勝馬田 康昭